帝京大学医学部付属病院に無線LANソリューション「Airespace」を導入

マクニカネットワークス

ネットワーク機器の輸入、開発、販売を手がけるマクニカネットワークスは、帝京大学医学部付属市原病院(以下、市原病院)に対して、Airespace, Inc.(以下、エアスペース社)の無線LANソリューション「Airespace(エアスペース)」を提供したことを発表した。

市原病院は、救急医療などの基幹医療センターとして地域医療における重要な役割を担っており、一日の外来患者数は約1000人、病床数は550床に及ぶ。日々、膨大な数のカルテが院内を行き交うことから、同病院は医療情報システムの導入に積極的に取り組み、これまでにレセプト電算処理システムやオーダリングシステムを稼働させている。

市原病院では、この夏の本格稼動を目指して電子カルテシステムとその重要なネットワークインフラである無線LANの導入を検討していた。特に移動性に優れている無線LANは、院内のどこからでもPDAを利用するためのモバイルネットワークの中心となるため、電波干渉の検証やセキュリティの確保、さらに安定稼動に向けてさまざまな課題を解決する必要があった。そこで同病院では、患者の安全性の向上や病院の資源管理を行うための電子カルテシステムのインフラとして、Airespaceを導入した。この導入により、院内のどこからでもシームレスにアクセスできるローミングや、不正利用を防止するセキュリティ対策を実現し、さらに導入後の電波を動的に管理することで、安全で快適な無線LANを実現した。

市原病院では、Airespaceを採用した無線インフラ上での電子カルテシステムにより、最新の医療設備と医療技術の総合力を活かし、患者の側に立った「質の高い医療」を推進していくと語っている。

広報企画担当／TEL：045-476-1960
E-mail：press@cs.macnica.net

産総研のグリッドコンピューティング研究・開発データを東京エレクトロン提供の「Scalar i2000」がバックアップ

東京エレクトロン

東京エレクトロンは、同社コンピュータ・ネットワーク事業部の取り扱い製品である「Scalar i2000」が、独立行政法人産業技術総合研究所(以下、産総研)の日本で最大の総演算性能を誇るクラスタ計算機「AISTスーパークラスタ」におけるストレージ・システムのバックアップ部に採用されたことを発表した。AISTスーパークラスタは2004年5月に運用が開始され、ストレージ・システムには日本SGIの「SGI SAN Server S600™」が納入されている。

AISTスーパークラスタは、LinuxOSで14.6TFLOPSの総演算性能と9.6TBのメインメモリ、803TBのストレージを持つクラスタ計算機で、グリッド技術を用いた高性能計算環境や、ナノテクノロジーおよびバイオインフォマティクスのための計算資源、分野横断的かつ国際的な研究推進や産学官連携を担う中核システムとして利用されている。

このクラスタ計算機をバックアップするScalar i2000は、SAN環境での使用を意識した設計であるため、高速かつ信頼性の高いバックアップ処理を実行することができる。また、19インチラックサイズの筐体を採用しているので、データセンター内におけるAISTスーパークラスタのラック群を揃えた効率的なスペース配置、および耐震措置が可能である。

東京エレクトロンはSANにいち早く注目し、1997年からブロケード社製のファイバーチャネルファブリックスイッチを提供してきた。また、本年4月からは、オープン系テープライブラリ市場において世界第一位のシェアを占めるADIC社のテープライブラリ製品の国内販売を始めるなど、包括的なSANソリューションの提供に取り組んでいる。

IFC㈱／TEL：03-5561-7187
E-mail：murase@kabuki.tel.co.jp

ビーコンIT

ゼリア新薬工業の営業販売情報システムにビジネスインテリジェンスツールを導入

ビーコンITは、同社が販売している日本ビジネスオブジェクツのビジネスインテリジェンスツール「BusinessObjects」がゼリア新薬工業の営業販売情報システム「eZ-view（イージービュー）」に導入されたことを発表した。

ゼリア新薬工業は「健康づくりは幸せづくり」をモットーに、消化器分野でリードする医療用医薬品とセルフメディケーションを考えたヘルスケア商品の開発・販売を手がけている。さらに、新薬競争が激化する中、ゲノム創薬の研究開発やナショナルブランド品の確立や販売網拡大などにも精力的に取り組んでいる。ゼリア新薬工業は、これらの活動を支えるためにビジネスインテリジェンスツール「BusinessObjects」を採用した。eZ-viewを構築した。またゼリア新薬工業は、ビーコンITにコンサルティングと開発を依頼してシステムの基本機能を強化した。主な追加機能として、分析結果をそのままExcelに貼り付けるためのスクリプト作成機能や、ユーザーインタフェースのHTMLカスタマイズ、自動生成HTMLの軽量化、企業ポータルからのシングルサインオン機能などがある。BusinessObjectsを導入したことによりユーザー社員はデータ処理に対する抵抗感を取り除き、「データ＝力」という便利さを実感することができるようになった。出張が多いMRや営業も、場所を選ばずいつでもeZ-viewへアクセスし戦略立案に役立てるなど、eZ-view中心の業務に移り変わった。紙の営業販売情報に比べ、セキュリティと業務効率の面でも大いに改善され、ペーパーレス化により年間500万円の経費削減を実現した。

マーケティング部／TEL：03-3340-2425
E-mail：market@beacon-it.co.jp

日本ヒューレット・パッカード

ANAが「ANAマイレージクラブ」用の新システムをHP-UXで構築

全日本空輸（以下、ANA）は、「ANAマイレージクラブ」の新システム（以下、Minds）に日本ヒューレット・パッカード（以下、日本HP）のHP-UXを採用し、運用を開始した。ANAは、システム全体を二重化することで、さらなる安定性を高め、HP-UX、Oracle RAC、BEA WebLogic Serverの組み合わせで基幹業務システムを再構築し、マイレージサービスに関わる処理のパフォーマンスを向上させた。

Mindsは、ANAマイレージクラブ会員向けのサービスをサポートするシステムで、インターネットの予約サイト、コールセンターと連携している。このMindsは、会員数の急増による処理量の増加に伴い、ハードウェアの更新とパフォーマンスの向上が課題となっていた。また、提携先の増加やお客様のニーズの多様化により、さらにきめ細かいサービスを提供するために、変化に柔軟に対応できる拡張性と高可用性のシステムが必要となっていた。これらの理由から、新たにMindsを構築することとなった。新たなMinds構築にHP-UXが選択された理由として、ネットワークを含んだシステムの完全二重化に加えてMC/SGとOracle RACの組み合わせで高可用性を実現したこと、10年間の長期サポート保証、価格性能比の向上によるサーバ保守費用の大幅な削減、Oracle 9i-RACとの親和性の高さ、日本BEAシステムズとの強力なアライアンス等があげられる。日本HPは、Mindsの構築にあたりインフラの設計からハードウェアの提供、IVR（音声応答システム）およびコールセンターのサーバ構築を手がけ、また、日米両方のコールセンター向けIVRアプリケーションを開発した。

カスタマー・インフォメーションセンター／
TEL：03-5304-6660